

## 個別事業

### 『一級河川 日野川 大規模特定河川事業（JR 東海道本線橋梁切替）』 の再評価

#### ●委員

本事業は大規模な事業であり、事業の必要性について改めて確認した。

費用が大きいかかっており、とりわけ物価高の上昇については、現在の状況を考慮するとやむを得ない。

地震や洪水など自然災害が発生しており、治水事業もいち早く進めてもらいたい。

琵琶湖の水位が下がっている中、中洲等、川の中にたまっている土砂が見えている状態である。これを機に掘削を大いに進めていただき、またその土砂に関しても堤防の築堤を積極的に実施してほしい。

費用対効果に関しても大きい値であるため、事業を進めてもらいたい。

#### ●委員

①コロナ禍での事業期間の延伸は、どれくらいか。また、そうならなかった場合の事業完了はいつか。

②事業費（コスト）の方は物価高の影響を考慮しているが、便益の（被害軽減額＝資産価値）方は物価高を考慮しているのか。

#### ○事務局

①コロナ禍の影響でおよそ9か月の事業延伸が必要になった。仮にコロナ禍でない場合は、令和9年の当初のとおり事業完了予定であった。

②便益においても、令和5年の資産価値に置き換えており物価高の影響を見込んでいる。

#### ●委員

電気作業規定の見直しについてであるが、事故に関しては、個別事案のことで、見直しは本事業に対してもものなのか、工事全般に関する事なのか

#### ○事務局

作業規定の見直しは、鉄道工事全般に関することである。